


【お客様へ】 このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。本書は、商品の正しい取付、取扱いについての要領と注意について記載してあります。必ず、取付作業前によくお読みいただき、正しい取付／取扱いを行ってください。
また、本書は商品を使用している間は、大切に保管してください。ご不明な点は販売店または、当社へお問い合わせください。

【販売店様へ】 本書及び、本製品の取付に際して取外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

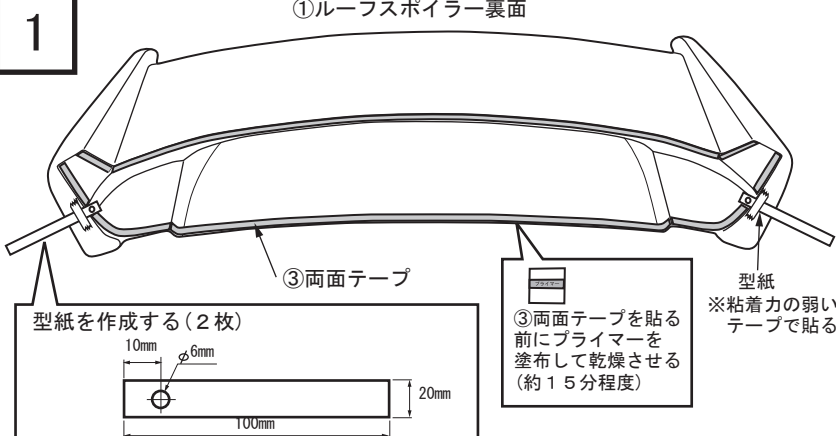
適応機種	FIT SHUTTLE HIBRID FIT SHUTTLE	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず別紙の注意事項をよく読んでから作業を行ってください。 ●本製品を改造しての取付は絶対に行わないでください。 ●エンジンを停止してサイドブレーキを確実に引いて平坦な場所で行なって下さい。 ●作業は、2人で行い、手袋等を使用してケガ等に十分注意してください。 	 注意
構成部品			

※作業をはじめる前に構成部品がそろっているか確認してください。

No.	品名	数量	No.	品名	数量
①	ルーフスポイラー本体	1	③	両面テープ	1
②	トラスボルト M5×20	2	④	PACプライマー	1

取付方法

1



①ルーフスポイラー裏面

③両面テープ

型紙を作成する(2枚)

10mm

φ6mm

20mm

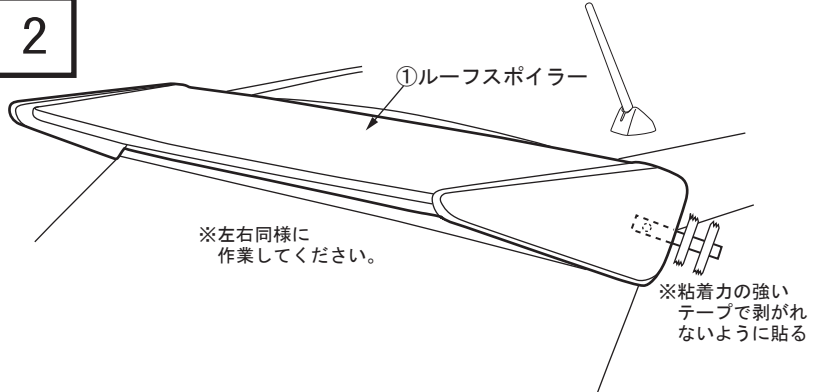
100mm

型紙 ※粘着力の弱いテープで貼る

③両面テープを貼る前にプライマーを塗布して乾燥させる(約15分程度)

- ①ルーフスポイラーを車両に仮セットして取付位置の確認をして、外してください。
- 図を参考にして、①ルーフスポイラー裏面及び車両の両面テープ貼り付け部分を十分に脱脂して①ルーフスポイラー裏面の③両面テープ貼付け部に④プライマーを塗布して乾燥してください。(約15分程度)
- プライマーが乾燥したら①ルーフスポイラー裏面に③両面テープを貼ってください。
- 図を参考にして、取付穴位置の位置転写用の型紙を作製して、①ルーフスポイラー裏面の穴位置に型紙の穴を合わせて粘着力の弱いテープにて貼ってください。

2



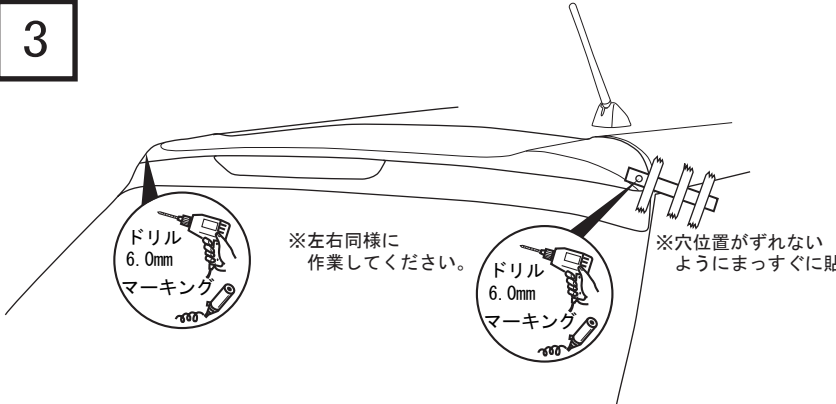
①ルーフスポイラー

※左右同様に作業してください。

※粘着力の強いテープで剥がれないように貼る

- 図を参考にして、①ルーフスポイラーを車両に取付位置を確認して仮セットしてください。※この際、両面テープの離型紙は剥がさないで行ってください。
- ボディ側にはみ出した型紙を曲がったり、折れたりしないようにまっすぐに、ボディに粘着力の強いテープで剥がれないようにしっかり貼ってください。
- 型紙が剥がれないようにゆっくりと①ルーフスポイラーを車両から外してください。

3



ドリル 6.0mm マーキング

※左右同様に作業してください。

ドリル 6.0mm マーキング

※穴位置がずれないようにまっすぐに貼る

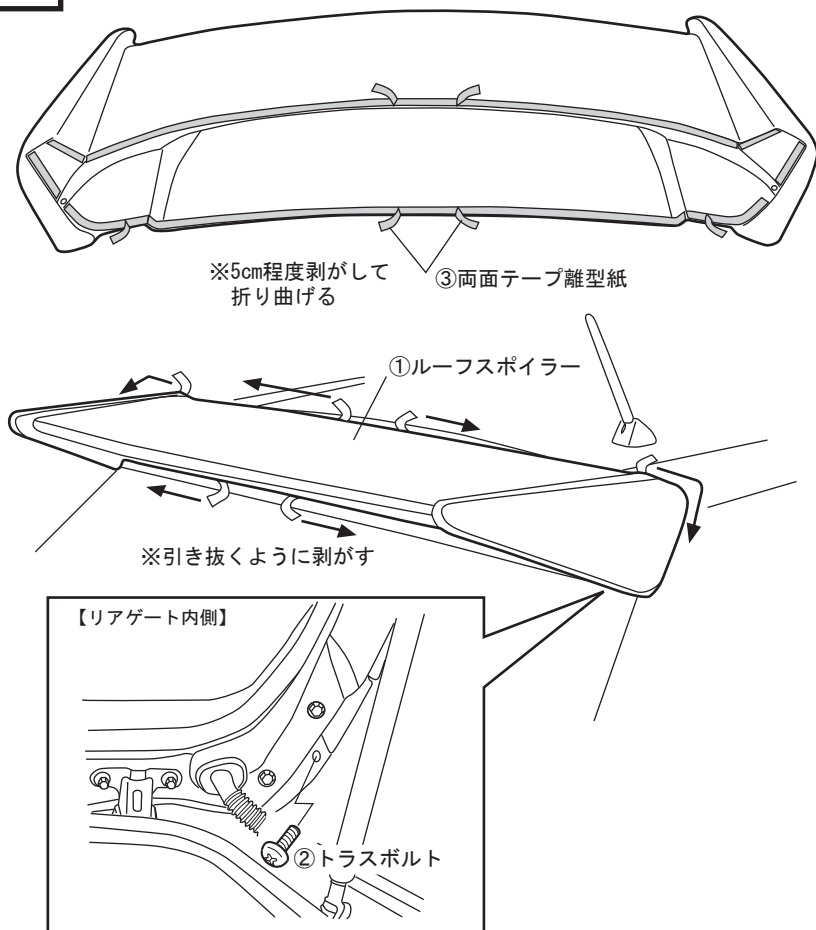
10mm

ドリル

※ボディパネルを穴開けの際、車体内部の損傷を防ぐためドリルの先端から10mmの箇所にガムテープ等でストッパーを作ってから作業してください

ストッパー

- 図を参考にして、車両側に残った型紙をまっすぐに伸ばして車両に貼り付けてください。
- 型紙の穴位置をボディ側にマーキングして、型紙を外してください。(※車両リアゲート上部の樹脂パーツ)
- マーキング位置をドリル(6mm)にて穴開けしてください。



1. 図を参考にして、①ルーフスポイラー裏面に貼った③両面テープの離型紙を少し(5cm程度)剥がして、表側に折り曲げてください。
2. 図を参考にして、①ルーフスポイラーを取付位置を確認して車両にセットしてください。
3. 図を参考にして、①ルーフスポイラーを押さえて車両リアゲートを開けて、裏側穴位置を②トラスボルトにて仮固定してリアゲートを閉じてください。
4. 再度取付位置を確認して、③両面テープの離型紙を引き抜くように剥がして十分に圧着してください。

アドバイス

- 両面テープ離型紙は、②トラスボルトを本締めする前に全て剥がしてください。
- ②トラスボルトを先に締め付けると、両面テープの離型紙が剥がせなくなったり、引き抜く際に切れてしまうことがあります。

5. 車両リアゲートを開けて、仮固定していた②トラスボルトを締め過ぎに注意して確実に固定してください。

⚠️ 注意

- 取付終了後は、全体のガタツキ等がないかもう一度確認してください。

取り扱い上の注意事項

⚠️ 注意

- 取付終了後は、ネジ類の締め付け及び、全体にガタツキ等が無いかもう一度確認してください。
- 取付終了後24時間は、洗車等で濡らさないようにしてください。
- 自動洗車機のご使用はしないでください。破損の原因となります。
- 日常点検を実施して、ガタツキ等があった場合は、そのまま使用しないでください。
- ルーフスポイラーの上に物を載せたり絶対にしないでください。
- ルーフスポイラーを持ってリアゲートの開閉は絶対にしないでください。
- ルーフスポイラーに負荷がかからないように注意してください。